

高等学校 令和6年度（3学年用）

教科 工業

科目 建築施工

教科：工業

科目：建築施工

単位数：2 単位

対象学年：第 3 学年

コース 建築大工

使用教科書：（ 建築施工（実教出版）

）

教科 工業

の目標：

- 【知識及び技能】
- 建築工事に関する各種の工法、工事管理、積算など建築施工に関する基礎的な知識と技術を身に付け、建築生産技術の意義や役割を理解している。
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 建築物の施工に関する課題を見出し、各分野の知識・技術を活用して、科学的な根拠に基づき思考・判断し、その解決策を的確に表現する能力を身に付けている。
- 【学びに向かう力、人間性等】
- 建築施工の各分野に興味・関心を持ち、環境に配慮した安全で快適な建築物を施工する力の向上を目指して、主体的に学習に取り組んでいる。

科目 建築施工 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・建築生産の中における最終過程である建築施工の持つ意義およびその領域を理解させるとともに、建築施工が地域や社会環境へどのような影響を及ぼしているか、法令順守や倫理、情報化社会の中の建築施工の位置づけなどを考察させる。	・建築工事の工程について、準備から竣工までの一連の流れの概要を理解させる。 ・建築工事の特性・安全衛生管理・労働災害について理解させ、安全に工事を行うための対応について学習し、考察させる。	・建築物のライフサイクルの考え方とそのマネジメントについて理解させる。 ・建築副産物、建築廃棄物について理解させる。 ・建築資材の再資源化について理解させる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	「建築施工」を学ぶにあたって 第1章 工事の準備 安全衛生管理 第2章 地面から下の工事 【知識及び技能】 ・工事の準備に関する基礎的な知識と技術を身に付け、建築敷地の調査、測量の方法の意義や役割を理解する。 ・仮設工事に関する基礎的な知識と技術を身に付け、仮設工事の必要性和各種の方法の意義や役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・工事の準備に関する基礎的な知識と技術をもとに、敷地調査、測量方法を思考するとともに、実際に活用するさいに適切な判断ができる能力を身に付ける。 ・仮設工事の基礎的な知識と技術をもとに、仮設工事の必要性和各種の方法を思考するとともに、実際に活用するさいに適切な判断ができる能力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・工事の準備の基礎的な知識と技術について関心をもち、建築敷地の調査、測量の方法の習得に向けて意欲的に取り組み、実際に活用しようとする態度を身に付ける。 ・仮設工事の基礎的な知識と技術について関心をもち、仮設工事の必要性和各種の方法の習得に向けて意欲的に取り組み、実際に活用しようとする態度を身に付ける。	・指導事項 第 1 章 1 地盤と敷地の調査・確認 2 仮設工事 安全衛生管理 第 2 章 1 土工事及び杭・地業の工事と流れ 2 土工事・山留め	【知識及び技能】 ・工事の準備に関する基礎的な知識と技術を身に付け、建築敷地の調査、測量の方法の意義や役割を理解している。 ・仮設工事に関する基礎的な知識と技術を身に付け、仮設工事の必要性和各種の方法の意義や役割を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・工事の準備に関する基礎的な知識と技術をもとに、敷地調査、測量方法を思考するとともに、実際に活用するさいに適切な判断ができる能力を身に付けている。 ・仮設工事の基礎的な知識と技術をもとに、仮設工事の必要性和各種の方法を思考するとともに、実際に活用するさいに適切な判断ができる能力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・工事の準備の基礎的な知識と技術について関心をもち、建築敷地の調査、測量の方法の習得に向けて意欲的に取り組み、実際に活用しようとする態度を身に付けている。 ・仮設工事の基礎的な知識と技術について関心をもち、仮設工事の必要性和各種の方法の習得に向けて意欲的に取り組み、実際に活用しようとする態度を身に付けている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1

第2章 地面から下の工事 第4章 鉄筋コンクリート構造の工事 【知識及び技能】 ・鉄筋コンクリート構造の鉄筋コンクリート工事に関する基礎的な知識と技術を身につけ、その工事の意義や役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・鉄筋コンクリート構造の鉄筋コンクリート工事に関する基礎的な知識と技術をもとに、その工事について思考するとともに、実際に活用するさいに適切な判断ができる能力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・鉄筋コンクリート構造の鉄筋コンクリート工事に関する基礎的な知識と技術について関心をもち、その工事の習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする態度を身につける。	・指導事項 第2章 3 杭工事 4 地業工事 第4章 1 鉄筋コンクリート工事 2 基礎 3 躯体 4 外部仕上げ 5 内部仕上げ	【知識及び技能】 ・鉄筋コンクリート構造の鉄筋コンクリート工事に関する基礎的な知識と技術を身につけ、その工事の意義や役割を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・鉄筋コンクリート構造の鉄筋コンクリート工事に関する基礎的な知識と技術をもとに、その工事について思考するとともに、実際に活用するさいに適切な判断ができる能力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・鉄筋コンクリート構造の鉄筋コンクリート工事に関する基礎的な知識と技術について関心をもち、その工事の習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする態度を身につけている。	○	○	○	14
定期考査			○	○	○	1
第5章 鋼構造の工事 【知識及び技能】 ・鋼構造の基礎に関する基礎的な知識と技術を身につけ、基礎工事の工法の意義や役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・鋼構造の基礎に関する基礎的な知識と技術をもとに、基礎工事の工法について思考するとともに、実際に活用するさいに適切な判断ができる能力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・鋼構造の基礎に関する基礎的な知識と技術について関心をもち、基礎工事の工法の習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする態度を身につける。	・指導項目 第5章 1 基礎 2 骨組 3 スラブ 4 耐火被覆 5 仕上げ 6 耐震診断と耐震改修	【知識及び技能】 ・鋼構造の基礎に関する基礎的な知識と技術を身につけ、基礎工事の工法の意義や役割を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・鋼構造の基礎に関する基礎的な知識と技術をもとに、基礎工事の工法について思考するとともに、実際に活用するさいに適切な判断ができる能力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・鋼構造の基礎に関する基礎的な知識と技術について関心をもち、基礎工事の工法の習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする態度を身につけている。	○	○	○	13
定期考査			○	○	○	1

2 学期	第6章 設備の工事 第7章 建築物のライフサイクルと環境への配慮 【知識及び技能】 ・設備工事の種類に関する基礎的な知識と技術を身につけ、設備工事の意義や役割を理解する。 ・建築物のライフサイクルと、建築物の保全に関する基礎的な知識と技術を身につけ、保全の分類と考え方および保全の方法の意義や役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・設備工事の種類に関する基礎的な知識と技術をもとに、設備工事の意義や役割を理解する。 ・建築物のライフサイクルと、建築物の保全に関する基礎的な知識と技術をもとに、保全の分類と考え方および保全の方法の方法の習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする態度を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・建築物の保全に関する基礎的な知識と技術について関心をもち、保全の分類と考え方および保全の方法の方法の習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする態度を身につける。	・指導項目 第6章 1 設備工事の種類 2 設備工事に必要な資格 3 設備工事の工程 第7章 1 建築物のライフサイクル 2 解体工事 3 環境保全	【知識及び技能】 ・設備工事の種類に関する基礎的な知識と技術を身につけ、設備工事の意義や役割を理解している。 ・建築物のライフサイクルと、建築物の保全に関する基礎的な知識と技術を身につけ、保全の分類と考え方および保全の方法の意義や役割を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・設備工事の種類に関する基礎的な知識と技術をもとに、設備工事の意義や役割を理解している。 ・建築物のライフサイクルと、建築物の保全に関する基礎的な知識と技術をもとに、保全の分類と考え方および保全の方法の方法について思考するとともに、実際に活用するさいに適切な判断ができる能力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・建築物の保全に関する基礎的な知識と技術について関心をもち、保全の分類と考え方および保全の方法の習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする態度を身につけている。 ・建築物のライフサイクルと、建築物の保全に関する基礎的な知識と技術について関心をもち、保全の分類と考え方および保全の方法の方法の習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする態度を身につけている。	○	○	○	13
3 学期	第8章 建築の業務 第3章 木構造の工事 【知識及び技能】 ・おもに工事契約に関する基礎的な知識と技術を身につけ、発注方式、契約方式、契約内容の意義や役割を理解する。 ・木構造に関する基礎的な知識と技術を身につけ、基礎工事、在来工法、枠組壁工法の工法の意義や役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・おもに工事契約に関する基礎的な知識と技術をもとに、発注方式、契約方式、契約内容について思考するとともに、実際に活用するさいに適切な判断ができる能力を身につける。 ・木構造に関する基礎的な知識と技術をもとに、基礎工事、在来工法、枠組壁工法の工法について思考するとともに、実際に活用するさいに適切な判断ができる能力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・工事契約に関する基礎的な知識と技術について関心をもち、発注方式、契約方式、契約内容の習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする態度を身につける。 ・木構造に関する基礎的な知識と技術について関心をもち、基礎工事、在来工法、枠組壁工法の習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする態度を身につける。	・指導項目 第8章 建築の業務 1 工事契約 2 現場組織の編成 3 施工計画と施工管理 4 建築業務とICT 第3章 木構造の工事 1 基礎 2 在来工法の骨組 3 枠組壁工法の躯体	【知識及び技能】 ・おもに工事契約に関する基礎的な知識と技術を身につけ、発注方式、契約方式、契約内容の意義や役割を理解している。 ・木構造に関する基礎的な知識と技術を身につけ、基礎工事、在来工法、枠組壁工法の工法の意義や役割を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・おもに工事契約に関する基礎的な知識と技術をもとに、発注方式、契約方式、契約内容について思考するとともに、実際に活用するさいに適切な判断ができる能力を身につけている。 ・木構造に関する基礎的な知識と技術をもとに、基礎工事、在来工法、枠組壁工法の工法について思考するとともに、実際に活用するさいに適切な判断ができる能力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・工事契約に関する基礎的な知識と技術について関心をもち、発注方式、契約方式、契約内容の習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする態度を身につけている。 ・木構造に関する基礎的な知識と技術について関心をもち、基礎工事、在来工法、枠組壁工法の習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする態度を身につけている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							70